

令和4年度 静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場体験学習施設
指定管理者選考・評価委員会 年度評価結果

1 要旨（評価概要）

静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場体験学習施設（愛称：ウォット）における指定管理業務を、より適正な管理運営や提供するサービスの向上に繋げていくため、令和4年度の指定管理実績を外部有識者による評価委員会により評価したところ、平均評価点は95.2点（100点満点）であった。今後の業務改善に活用していく。

2 評価委員会の概要

評価年月	令和5年3月		
評価年度	令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）		
評価対象者	（指定管理者）環浜名湖の地域活性を考える会		
評価委員 （50音順）	土屋 考司	（伊豆・三津シーパラダイス飼育長）	
	土屋 宏幸	（浜松市舞阪協働センター所長）	
	寺田 久美子	（舞阪の自然を守る会事務局長）	
	長谷川 勝治（委員長）	（元静岡県立焼津水産高等学校校長）	
	森谷 浩行	（静岡県西部地域局長）	

3 評価項目と配点

評価項目	評価細目	上限点数	ウェイト	評価合計点数
1 基本的報告事項	(1)開館状況	5点	2	10点
	(2)利用者数	5点	2	10点
	(3)職員配置状況	5点	1	5点
	(4)展示魚等の飼育管理状況	5点	2	10点
2 県民の平等な利用の確保及びサービスの向上	(5)利用者の満足度の状況	5点	2	10点
	(6)多くの人々への学習機会の提供	5点	3	15点
3 体験学習施設の効用を最大限に発揮	(7)利用者の拡大のための努力	5点	3	15点
4 安定した管理能力	(8)危機管理体制	5点	2	10点
	(9)設備・備品管理能力等	5点	1	5点

5 前年度までの改善提案への対応	(10)改善状況	5 点	2	10 点
合 計		50 点		100 点

配 点	評価区分
5 点	大変評価できる
4 点	概ね評価できる
3 点	評価できる
2 点	やや努力を要する
1 点	努力を要する
0 点	評価できない

ウエート	評価の重要度
3	特に重要
2	重要
1	普通

4 評価結果

評価項目	評価細目	評価合計点数 (平均)
1 基本的報告事項	(1)開館状況	9.6 点/ 10 点
	(2)利用者数	10 点/ 10 点
	(3)職員配置状況	4 点/ 5 点
	(4)展示魚等の飼育管理状況	9.2 点/ 10 点
2 県民の平等な利用の確保及びサービスの向上	(5)利用者の満足度の状況	9.6 点/ 10 点
	(6)多くの人々への学習機会の提供	15 点/ 15 点
3 体験学習施設の効用を最大限に発揮	(7)利用者の拡大のための努力	14.4 点/ 15 点
4 安定した管理能力	(8)危機管理体制	9.6 点/ 10 点
	(9)設備・備品管理能力等	4.2 点/ 5 点
5 前年度までの改善提案への対応	(10)改善状況	9.6 点/ 10 点
合 計		95.2 点/100 点

5 委員の主な意見

項目	委員コメント
(1)開館状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍が続く中、年間を通して開館した。 ・集客の効率を考えた休館日の変更など、努力は評価できる。 ・開館日数の増加に当たり、休館日の調整や夜間開館等の工夫が見られる。
(2)利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ・4月から12月までの来館者数が10万人以上と、コロナ禍で過去最高の利用者数であったことは評価できる。
(3)職員配置状況	<ul style="list-style-type: none"> ・最少人数で従事しているため、職員1人1人の負担が増していると思われる。 ・突発的な事案が起きた時の対応策が必要である。 ・ボランティアの活用もあるが、イベント等が増えることを想定すると、職員の補充があったほうが良い。 ・専門職の職員を配置するなど、適正な職員配置である。
(4)展示魚等の飼育管理状況	<ul style="list-style-type: none"> ・展示魚の種類や見せ方が興味深く、進化している。 ・展示種数も増加しており、工夫が見られる。 ・適切な飼育がされている。
(5)利用者の満足度の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・体験教室への申込人数が多く、利用者の関心が高い。 ・アンケートの回答からも満足度の高さが推察でき、利用者の増加につながっている。 ・創意工夫により満足度が上がっており、満足度が80%以上(アンケート結果)であることは評価できる。
(6)多くの人々への学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・特別講座やイベントが数多く行われており、また、参加費用も安価のため、参加しやすい状況にある。 ・コロナ禍で、可能な限りの対応が実施されている。
(7)利用者拡大のための努力	<ul style="list-style-type: none"> ・特別展示の企画が工夫されている。 ・企画や斬新なポスター等、話題づくりに貢献している。 ・メディア、SNS等を積極的に使い、情報の発信ができています。
(8)危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等緊急マニュアル等が整備され、訓練等も確実に行われている。 ・津波訓練は利用者の屋上誘導訓練も必要である。
(9)設備・備品管理能力	<ul style="list-style-type: none"> ・自己管理・対応ができています。 ・経年劣化によるものは予算の関係上対応が難しい面もあるが、利用者に迷惑がかからないよう改善していく必要がある。 ・経年劣化による不具合にも、適切、丁寧なメンテナンスができています。
(10)改善状況	<ul style="list-style-type: none"> ・提案に対して、真摯に耳を傾け、早急な対応がとられている。